

やさしい中学歴史 5-1 チェック問題 氏名

- (1) 大和政権の課題の一つは、力をつけてきた[① 氏]などの豪族をおさえ、国内の政治を安定させることだった。また当時の中国にあった[②]に對抗できる力をつけて、朝鮮半島に影響を残すことも課題だった。そのためにも天皇の力を強める必要があった。
- (2) 歴史上で初めての女性天皇が[① 天皇]である。そのおいてある[②]が代わりに政治を行った。このように天皇の代わりに政治を行う役職を[③]という。蘇我氏一族のリーダーである[④]の協力も得ながら、政治を行った。
- (3) 聖徳太子は 603 年、家柄などに関係なく、才能や功績のある人を役人にとりたてる制度である[①]を定めた。また 604 年には、朝廷の役人の心構えを示した[②]を制定した。また聖徳太子は[③ 儒教 / 仏教]を保護した。現存する世界最古の木造建築物である[④ 寺]を建てた。
- (4) 聖徳太子は中国との対等な関係を目指し、607 年に[①]らを中国に派遣した。これを[②]という。
- (5) 聖徳太子の時代に栄えた文化を[① 文化]という。日本最初の仏教文化であり、法隆寺の[②]が代表的である。

(1)① 蘇我氏	(1)② 隋	(2)① 推古天皇
(2)② 聖徳太子	(2)③ 摂政	(2)④ 蘇我馬子
(3)① 冠位十二階	(3)② 十七条の憲法	(3)③ 仏教
(3)④ 法隆寺	(4)① 小野妹子	(4)② 遣隋使
(5)① 飛鳥文化	(5)② 釈迦三尊像	

やさしい中学歴史 5-2 チェック問題 氏名

- (1) 7世紀前半、中国では[①]が滅び、[②]が中国を統一した。その進んだ政治制度や文化を学ぶため、日本からも[③]が派遣された。
- (2) 聖徳太子の死後、蘇我氏が天皇をしのぐほどの力を持ち、独裁的な政治を行った。それに対する不満が高まり645年、[①]は[②]らの協力を得て、蘇我蝦夷と入鹿の親子を倒した。646年、改新の詔が出され、政治改革が始まった。これを[③]という。
- (3) 663年、百済の復興を助けるため朝鮮半島に出兵した。これを[①]の戦いという。しかし日本と百済の連合軍は、唐と新羅の連合軍に敗れた。これにより日本は朝鮮半島での影響力を完全に失い、唐と新羅が日本に攻めてくる恐れも出てきた。そこで九州北部を守るため[②]と呼ばれる兵士を置いた。
- (4) 中大兄皇子は[① 天皇]となり、天皇中心の国づくりを行った。唐と新羅をみならって[②]にもとづく政治を目指した。そのために日本で初めての全国的な戸籍である[③]をつくった。
- (5) 天智天皇の死後、息子の中大兄皇子と弟の大海人皇子の間で、天皇の地位をめぐる672年に戦いが起きた。これを[①]の乱という。弟の大海人皇子が勝利し[② 天皇]となった。都を飛鳥に移し、天皇中心の政治を目指した。またこの頃、日本最古の貨幣である[③]がつくられたといわれている。
- (6) 701年[①]が制定され、律令政治が実現した。豪族は高い身分などが与えられ[②]と呼ばれるようになった。そして国ごとに中央から[③]を派遣し、行政を担当させた。土地と人民は天皇のものとする[④]制が実施され、6歳以上のすべての男女に[⑤]という農地を与え、その人が死ぬと国に返させた。これを[⑥]法という。
- (7) 税制改革も行われた。口分田の収穫量の約3%の稲を納めることを[①]という。地方の特産物を納めることを[②]という。都で労働をするか布を納めることを[③]という。その他、国司のもとで労働させる[④]もあった。以上のような改革、大宝律令は[⑤]を中心に作られた。

(1)① 隋	(1)② 唐	(2)① 中大兄皇子
(2)② 中臣鎌足	(2)③ 大化の改新	(3)① 白村江の戦い
(3)② 防人	(4)① 天智天皇	(4)② 律令
(4)③ 庚午年籍	(5)① 壬申の乱	(5)② 天武天皇
(5)③ 富本銭	(6)① 大宝律令	(6)② 貴族
(6)③ 国司	(6)④ 公地公民制	(6)⑤ 口分田
(6)⑥ 班田収授法	(7)① 租	(7)② 調
(7)③ 庸	(7)④ 雑徭	(7)⑤ 藤原不比等